

議会改革の取組（令和元年度～令和４年度）

1 議会改革検討会議

議会基本条例第30条第3項の規定に基づき、議会改革行動計画について調査し、及び審議することを目的に、令和元年5月17日に設置し、全9回にわたって会議を開催し検討を行った。（令和2年3月5日廃止）

【検討の成果】 ※結果報告書は「資料編 P1～P8」を参照

- ・議会ICT化の推進
 - 情報通信環境及びタブレット端末の整備（R3年9月整備）
 - ペーパーレス会議システムの導入（R3年9月導入）
- ・災害対応力の強化
 - 議会版BCPの策定（R3年3月策定）
- ・誰もが政治参加しやすい環境づくり
 - 議会の欠席理由として、育児や介護等を明文化（R元年12月、R3年7月改正）
 - 議会に関する若者アンケートの実施（R元年9月実施）
 - パーキングパーミット制度を利用した駐車場の整備（R3年度整備）
 - 点字版とくしま県議会だよりの発行（R2年度から発行）
- ・その他の取組
 - 議会の年間日程の作成・公表（R2年度分の年間日程から公表）
 - 質問要旨の通告及びホームページの前日掲載（R元年9月定例会から実施）

【委員名簿】

座長	岩佐 義弘			
副座長	北島 一人			
委員	福山 博史	原 徹臣	大塚 明廣	
	井下 泰憲	山西 国朗	立川 了大	
	庄野 昌彦	臼木 春夫		
オブザーバー	喜多 宏思（議長）	南 恒生（副議長）		
	達田 良子	梶原 一哉	仁木 啓人	
	扶川 敦			
	東条 恭子（第1回～第8回参加）			
	浪越 憲一（第1回～第8回参加）			
	吉田 益子（第6回～第8回参加）			
	原井 敬（第1回～第3回参加）			

2 政策条例検討会議

議員が提出する政策条例の議案の作成に関し協議又は調整を行うことを目的に、平成24年7月17日に設置した。

前任期に制定された議員提案政策条例について、これらの条例が県民生活に与えた効果・影響について検証を行うことが平成27年9月4日の会長・幹事長会で決定された。

【議員提案による政策条例一覧】 ※各条例の全文は「資料編 P33～P43」を参照

- ・徳島県交通安全の推進に関する条例（R2.3.10可決）
- ・徳島県主要農作物等種子条例（R3.3.10可決）
- ・とくしま健康長寿社会づくり条例（R4.3.9可決）
- ・徳島県ワンヘルス推進条例（R5.3.7可決）

【検証を行った議員提案による政策条例一覧】

- ・とくしま藍の日及び徳島県の色を定める条例（R元年度実施）
- ・徳島県家庭教育支援条例（R2年度実施）
- ・徳島県読書活動の推進に関する条例（R3年度実施）
- ・徳島県消費者市民社会の構築に関する条例（R4年度実施）

【委員名簿】

・令和元年度

座長	中山 俊雄			
副座長	大塚 明廣			
委員	福山 博史	岡 佑樹	井川 龍二	
	須見 一仁	原 徹臣	井下 泰憲	
	北島 一人	立川 了大	高井 美穂	
	達田 良子	古川 広志	仁木 啓人	
	東条 恭子	浪越 憲一	扶川 敦	
	吉田 益子	（第3回～第4回参加）		
	原井 敬	（第1回参加）		
オブザーバー	喜多 宏思	南 恒生	（副議長）	

・令和2年度

座長	元木 章生			
副座長	岩佐 義弘			
委員	福山 博史	原 徹臣	増富 義明	
	浪越 憲一	井下 泰憲	立川 了大	
	高井 美穂	東条 恭子	達田 良子	
	梶原 一哉	扶川 敦		
オブザーバー	寺井 正邇	岡田 理絵	（副議長）	

・令和3年度

座長	岩佐 義弘				
副座長	井下 泰憲				
委員	井川 龍二	増富 義明	大塚 明廣		
	山西 国朗	北島 一人	立川 了大		
	長池 文武	庄野 昌彦	達田 良子		
	古川 広志	扶川 敦	浪越 憲一		
	須見 一仁	岡 佑樹			
	岩丸 正史 (議長)	元木 章生 (副議長)			

・令和4年度

座長	井下 泰憲				
副座長	福山 博史				
委員	山西 国朗	立川 了大	原 徹臣		
	増富 義明	大塚 明廣	北島 一人		
	仁木 啓人	庄野 昌彦	達田 良子		
	梶原 一哉	扶川 敦	浪越 憲一		
	岡 佑樹	黒崎 章			
	南 恒生 (議長)	井川 龍二 (副議長)			

3 県行政に係る基本計画の議決条例

県行政に係る基本計画の策定等を議会の議決すべき事件として定めることにより、基本計画の立案の段階から議会が積極的な役割を果たし、実効性の高い基本計画の策定を図るとともに、県民の視点に立った透明性の高い県行政の推進に資することを目的として制定 (H24. 12. 19可決) された。(条例の全文は「資料編 P45～P46」を参照)

【R元～R4に議決した基本計画】

- ・「未知への挑戦」とくしま行動計画
- ・徳島県男女共同参画基本計画 (第4次)

4 開かれた議会への取組

(1) 開かれた県議会 体験・見学プログラム

「夏休み県議会体験会」、「県議会小学生社会見学ツアー」、「議会見学会」、「県議会と県立総合大学校との連携」の4事業をパッケージとして県民に提供することにより、子供から大人まで多くの県民に、議会の役割や仕組みを理解してもらい、これまで以上に県議会に親しみを持ってもらうため、平成25年度から実施している。

【各プログラムの概要】

①夏休み県議会体験会（R元. 7. 26、R4. 8. 5）

中学生を対象に、議事堂見学、議会の概要についての聴講、議員との意見交換会等を実施した。

議員との意見交換会では、グループに分かれ、委員会室で委員会形式で意見交換した。

年度	参加者数		計
	生徒	議員	
元	35	10	45
4	16	6	22

令和2年度・3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施しなかった。

③県議会小学生社会見学ツアー（H25年9月～）

小学校単位で5年生、6年生を対象として本会議傍聴及び議事堂見学と他施設の見学を組み合わせたツアーを実施した。

年度		6月定例会	9月定例会	11月定例会	2月定例会	計
元	参加学校数	4	3	3	4	14
	〃児童数	70	60	52	75	257
4	参加学校数	-	-	3	-	3
	〃児童数	-	-	41	-	41

令和2年度・3年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施しなかった。

④議会見学会（H25年7月～）

おおむね5名以上の団体を対象に、議事堂内の各施設見学を随時実施した。

⑤県議会と県立総合高等学校（まなびーあ徳島）との連携（H25. 7月～）

議会見学会、本会議の傍聴、委員会の視聴について、県立総合高等学校の単位取得につながる講座として認定された。

(2) 高校生と県議会議員との意見交換会

選挙権年齢の引き下げに関する啓発を行うとともに、県議会や議員活動に関心を高めてもらうため、議員が高校を訪問し、生徒と意見交換を行った。令和元年度から令和3年度は、会派代表議員と脇町高校及び徳島科学技術高校（R元）、富岡東高校（R2）、阿波高校及び城西高校（R3）の生徒とで意見交換を行った。

(3) 大学との包括連携協定

①徳島文理大学

平成22年9月13日、徳島県議会と徳島文理大学とは、相互に協力することにより、様々な地域課題に迅速かつ的確に対応するとともに、魅力ある地域づくりや地域における高度な識見を有する人材の育成に資することを目的に包括連携協定を締結した。

(協定書は「資料編 P47」を参照)

【連携・協力事項】

- ・徳島県議会の政策形成及び調査・研究に関すること
- ・徳島文理大学の人材育成及び教育・研究環境の充実にに関すること
- ・その他連携の目的を達成するために必要な事項に関すること

【事業実績】

- ・議場見学、県議会の概要説明 (R元、R4)
- ・議員による講演 (R元、R4)
- ・議会インターンシップ (R元、R4)
- ・大学教授による講演 (R元、R3、R4)
- ・大学教授による調査レポートへの寄稿 (R元～R4)
- ・本会議の傍聴 (R元)
- ・議員と学生との意見交換会 (R元、R4)

②四国大学

平成24年7月9日、徳島県議会と四国大学は、包括的な連携の下、相互に協力することにより、様々な地域課題に迅速かつ的確に対応するとともに、魅力ある地域づくりや地域における高度な識見を有する人材の育成に資することを目的とし、「徳島県議会と四国大学との包括連携協定」を締結した。(協定書は「資料編 P48」を参照)

【連携・協力事項】

- ・徳島県議会の政策形成及び調査・研究に関すること
- ・四国大学の人材育成及び教育・研究環境の充実にに関すること
- ・その他連携の目的を達成するために必要な事項に関すること

【事業実績】

- ・書道パフォーマンス (R元～R4)
- ・議員と学生との意見交換会 (R元、R2、R4)
- ・議員による講演 (R元～R4)
- ・県議会の概要説明 (R元～R4)
- ・議会インターンシップ (R元～R4)
- ・作品・パネル展示 (R元～R4)

(4) 議会ホームページの充実

県民に対し開かれた議会を実現するため、平成10年4月に県議会ホームページを開設した。当ホームページは、県議会の日程や本会議の傍聴、定例会の結果などを案内するほか、会議

録検索システムを備えている。議会改革等で随時内容の充実を図っており、令和2年3月から議会の年間日程（予定）を掲載したほか、令和3年6月定例会より、本会議のインターネット中継（生中継・録画配信）をYouTubeに移行した。

（5）徳島県議会表彰

スポーツ・学芸部門の全国大会以上の大会において、最優秀の成績を収めた徳島県内の学校に在籍する児童、生徒及び学生（団体を含む）を表彰するため、平成24年度より、2月定例会の本会議開催日に、議場において県議会表彰式を行った。

（表彰要綱は「資料編 P49」を参照）

【表彰の状況】

年度	スポーツ部門		学芸部門	
	個人	団体	個人	団体
元	24	0	12	4
2	7	0	7	1
3	19	2	5	1
4	18	2	5	4